

ハローワークと連携し、意欲の高い高年齢者の就職をバックアップ



東京都立
中央・城北職業能力開発センター
高年齢者校

設置・運営●東京都
所在地●東京都千代田区飯田橋3-10-3
東京しごとセンター10～12F
訓練科目と期間●和装技術科(1年)、ビル管理科(6カ月)、インテリアリフォーム科(6カ月)、ホテル・レストランサービス科(6カ月)、ハウスサービス科(6カ月)、ビル設備管理科(3カ月)、経営管理実務科(6カ月)、ビジネス経理科(6カ月)、パソコン実践科(3カ月)



東京都立中央・城北職業能力開発センター高年齢者校は、就職を支援するさまざまな機関が集まる東京しごとセンターの建物内にある。

訓練の対象は、求職中または転職を希望する人で、和装技術科は年齢を問わず高校卒業程度の学力を有する人(授業料有料)、それ以外はおおむね50歳以上(授業料無料)。各科目では職業に必要な知識・技術・技能を身につけて、就職するための訓練を行っている。

和装技術科、ビル管理科、インテリアリフォーム科、ホテル・レストランサービス科は昼間部、経営管理実務科、ビジネス経理科、パソコン実践科は昼間部の委託訓練、ハウスサービス科(2コース)とビル設備管理科(7コース)は夜間部。業界の専門家である講師による授業が行われ、科目によっては、各科2週間ほどの企業実習もある。

夜間は在職者の方もおり、必要な技術を集中的に勉強するコース。昼間部の訓練生は、ハローワークを通して申し込んだ求職者で、就職関連の授業も組み込まれたカリキュラムになっている。

「ビル管理科は就職率9割程度です。景気がよくなっているからか、能開センター全体で入校選考の倍率は下がる傾向にあるのですが、人気が高く2倍くらいの倍率です。和装は女性中心で、高校を卒業してすぐの方もおり、平均年齢は30歳代前半です」(小澤力校長) 和装以外の科目の訓練生の平均年齢は50歳代後半で、前職もさまざま。

「ホテル科だと、英語を使うこともあるので商社にいらした方とか、販売・営業だったのでホテルの接客に生かしたいと来られる方、ずっとデスク

ワークだったけれど第二の人生は違った働き方をしたいという方、インテリアリフォーム科の場合は趣味でDIYをやっていたという方など、いろいろです。必ずしも「修了後は職人になる」というわけではなく、例えば工務店で積算、営業事務などをやるにしても、モノや手順がわかっていると全然違います。前職経験を生かしながら、ここでの勉強をプラスした幅広い仕事を視野に入れて就職を目指していただければと思っています」

和装技術科での就職先は、和服縫製業だけでなく、呉服店の販売、ホテル等の写真撮影現場の着付けのほか、時代劇や舞台の衣装部という例もある。

訓練生の真面目さと高い意欲

定年後の入校者は2～3割で、離職して次の仕事で生計を立てる目的の人が多いため、意欲が高く熱心で、出席率もよい。

「全体で7割ほどの就職率を保っているのも、皆さんのレベルが高いからでしょう。講師も訓練生の真面目な態度に刺激を受けているようです。手抜きなどできません。健康管理に努め、体力もありますし、見た目もすごく若いですね。『高年齢者』と呼ぶのは違和感があり、申し訳ない気がします。やる気満々で、生涯現役という勢いの方も多し。それをぜひ知っていただきたいですね」

ハローワークと密接に連携した就職支援

業界人や修了生に話を聞くことや現場の見学を通して、訓練生には常に就職への意識づけを行っているが、同校自体は直接、職業紹介を行わない。ハ



インテリアリフォーム科

ローワーク飯田橋が近くにあり、同じ建物(東京しごとセンター)の1階にもハローワーク飯田橋のシニアコーナーが入っているため、頻繁に行き来して密接に連携しながら就職支援を行っている。職業講話を頼んだり、相談員に話をしてもらったり相談に乗ってもらおう。求人情報も確認できる。また、訓練生の求職者情報を業界紙などの媒体に出したり、企業に訓練生の求人を出してもらおうよう働きかける努力もしている。ハローワークや各業界の協力を得、連携することで、一人ひとりに合った就職支援ができ、一層の効果をあげている。

小澤校長は、「やはり本校の訓練生

たちの意欲、熱意が伝わるからこそ、関係機関の方たちも一生懸命やってくださるのだと感じます。ここでの訓練によって身につけたスキルに加え、一人ひとりそれぞれの実務経験があります。今まで培ってきたもの、潜在能力なども含めて企業の方はご判断いただければと思います。そのためにわれわれの現場をぜひ見てほしいのです。会ってみれば、書類だけではわからないものが伝わるはずですよ」と強調した。